

一般質問通告書

次の件について、会議規則第60条の規定により、一般質問の通告をいたします。
(全体所要時間 60分)

平成 28 年 12 月 1 日 午前・午後 時 分 受付

広陵町議会議員 山田美津代 印

広陵町議会議長 笹井 由明 様

質問の要旨(できるだけ具体的に)	答弁者
<p>質問事項 1、中学校給食センター“スマイル”は4000食の工場。</p> <p><内容>この工場では手間暇かけることができない。でもおいしさは給食の基本です。おいしい物を食べたい、食べさせたいと思うのは、子ども達や保護者の当然の願いです。そのためにどう努力されますか？9月5日から子ども達や保護者が待ちに待った中学校給食が始まり、初日のメニューは誰が作っても美味しく作れると思われるカレーでした。ところが夕方から保護者や給食を食べた子ども達から聞こえてくる声は不味かった。吐きそうになった。牛乳も温くて飲めなかった。と散々でした。その後も老人食みたいとか量が足りないとか、不満の声が多いのです。子ども達からおいしいという声が聞こえない給食では12億円もかけてセンターを建設して給食を実施したのもったいないではないですか？アレルギー調理室も作りアレルギーのある子ども達に万全体制と教育委員会が言っていたのに、卵アレルギーの子どもが、かきたま汁のときに除去食を食べていなくてかきたま汁そのものを食べていないことも判明しました。そこでお聞きします。</p> <p>① おいしい給食を目指してほしいという声にどう応えるか？ ② アレルギー対策は万全か？ ③ センター方式の弱点は？</p>	町長 教育長
<p>質問事項 2 就学援助制度を前倒して入学前に支給することを強く求めます。</p> <p><内容>就学援助制度とは義務教育は無償とした憲法第26条など関係法にもとづいて、小、中学生が安心して勉学に励めるように学用品や給食費、修学旅行費などを補助する制度です。支給時期は早い自治体でも6月以降、本町は7月頃で入学準備金が必要な時期に間に合わず改善を何回か要望してきました。このたび王寺町が来年から3月に支給を決められ本町でも子育て応援、貧困対策として3月支給をすぐに、実施されるよう検討すべきです。</p>	町長 教育長

<p>質問事項 3、町の奨学金制度の拡大で学生を応援する体制を。</p> <p><内容>町の奨学金は平成27年度は180万円の予算で、支給されている高校生は27名でした。一人年間6万円なので、予算の執行は162万円です。使い切っていないのです。現状の月5000円支給のこの条例は昭和36年に作られ平成7年に改訂されてから21年経過しています。物価が上昇している今、そして子どもの貧困が6人に1人という状況のなか。この町独自の奨学金制度を拡大して、もっと支援することがいるのではないですか？</p> <p>そこで次の事を提案します。</p> <p>① 就学援助制度と同じく入学一時金を制度として確立すること。</p> <p>② 大学生まで拡大すること。</p> <p>年間支給額の引き上げ、例えば今の金額の倍の12万円にするか人数を増やすこと。</p>	教育長
--	-----